

③ 特別支援教育研修会

特別支援教育に関する今日的かつ基本的な内容の研修を持つことにより、教職員の資質を高めることをねらいとして実施した。

第1回 平成27年7月29日(水)

講師 健志堂 院長 尾関 克哉 氏

テーマ 「発達障害の子どものからだづくり『声を大にして伝えたい心と体の根っこの話』」

【内容】

- 1 コア機能再学習の必要性
 - ・ 発育、発達の流れに沿うこと。姿勢を整え、頭を安定させることが大切
- 2 体育指導の現場で大切にしていること
 - ・ ポジティブな言葉で子どもを認め、上手に誉めることが大切
- 3 「日常生活で出来る座り方立ち方のコツ」
- 4 「コアキッズ体操」



第2回 平成27年8月6日(木)

講師 大阪府立堺東高等学校 渡邊 元嗣 教諭

テーマ 「学校で使えるアンガーマネジメント」

【内容】

1. 攻撃的な（キレル）生徒の理解
 - ・ 教育現場の現状
 - ・ 攻撃行動の分類
 - ・ 心理学から怒りを考える
2. 攻撃的な（キレル）生徒のコミュニケーション
 - ・ 怒りはどのように生み出されるのか
 - ・ キレないようにするための方法
3. 先生のためのアンガーマネジメント
 - ・ アンガーマネジメントとは
 - ・ 個別対応の事例
 - ・ アンガーマネジメント・プログラム



第3回 平成27年8月19日(水)
講師 くらしき作陽大学 教授 橋本 正巳 氏
テーマ 「気になる子どもの理解と支援」

【内容】

1 講演

- ・困っているのは子どもということを忘れず、発達段階を押しえた、発達に応じたかかわりと、発達をつまづきを見つけることが大切
- ・IEPの作成において実態把握には背景の読み取りと根拠に基づいた説明が必要。背景を基により良い気づきを促すための目標設定をする
- ・ユニバーサルな環境設定は子どものリスクを減らすことにつながる
- ・わかりやすいルール作りや見通しを持たせること、望ましい行動を提示することなどのかかわりをするのがポイント

2 ワークショップ

- ・気になる子どもの行動について、グループごとにテーマを決めてディスカッションし、話し合った内容を「指導・支援表」にまとめる
- ・発表では、一つの事例を取り上げてロールプレイを行う

3 まとめ

